

令和6年

安全安心なまちづくり関係功労者表彰

令和6年10月

警察庁・法務省

令和6年安全安心なまちづくり関係功労者表彰
表彰式次第

- 1 表彰状授与
- 2 内閣官房長官挨拶
- 3 受賞者代表謝辞

～ 記念写真撮影 ～

令和6年安全安心なまちづくり関係功労者表彰

受賞者名簿

(個人、団体の順に五十音順)

【防犯活動】

- | | | |
|---|--------------------------------|---------|
| 1 | あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい | (奈良県警察) |
| 2 | 神原地区防犯連絡所指導員協議会 | (山口県警察) |
| 3 | 川尻校区防犯協会 | (熊本県警察) |
| 4 | 西六セーフティパトロール隊 | (大阪府警察) |
| 5 | 紫波地区地域安全推進協議会 | (岩手県警察) |
| 6 | 高階地区防犯委員会 | (石川県警察) |
| 7 | 広幡地区防犯まちづくり推進協議会 | (静岡県警察) |
| 8 | 福山大学サイバー防犯ボランティア C y P a t F U | (広島県警察) |

【再犯の防止等に関する活動】

- | | | |
|---|-----------------------|-----------|
| 1 | 水舟雪枝 | (岡山県警察) |
| 2 | 一般社団法人こうち絆ファーム | (高知地方検察庁) |
| 3 | 牛久シャトー株式会社 | (法務省矯正局) |
| 4 | ぐんま・つなごうネット | (前橋保護観察所) |
| 5 | 更生保護支援ボランティアふれあいサークル | (秋田保護観察所) |
| 6 | 更生保護法人鳥取県更生保護給産会 | (鳥取保護観察所) |
| 7 | 特定非営利活動法人広島県就労支援事業者機構 | (広島地方検察庁) |
| 8 | 横浜刑務所教化事業後援会 | (法務省矯正局) |

※括弧内は推薦団体

功 績 概 要

推 薦 者	奈良県警察
団 体 名	あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい
所 在 地	奈良県奈良市
代 表 者	平位 太洋
功 績 の 概 要	平成22年、全国的に防犯ボランティア団体の構成員の高齢化が問題となっていることを受けて、自主防犯団体の活性化、若い世代の参加促進を目的として結成。 ジョギングを行いながらパトロールをするジョギングパトロール、揃いの蛍光ベストを着用しての夜間パトロールを実施している。 また、分かりやすく楽しみながら防犯について学んでもらいたいと考え、ユーモアを取り入れた防犯寸劇を台本から作成して防犯講習等で披露しているほか、大型商業施設における小学生対象の防犯啓発イベント等の開催、奈良県警察の防犯アプリ「ナポリス」の広報アンバサダーを務め、普及啓発を図るなど、その活動は非常に多岐に渡っている。 さらに、オリジナルの防犯ラッピングを施した寄付型自動販売機を考案し、現在では、同自動販売機の売上金の一部は、県内自主防犯団体への支援に充てられている。 同団体は、活動を通じて「自分達の力で地域の安全を守る」という精神が養われており、その高い防犯意識は安全安心な地域社会の実現への大きな礎となるものであるほか、世代を超えた安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。



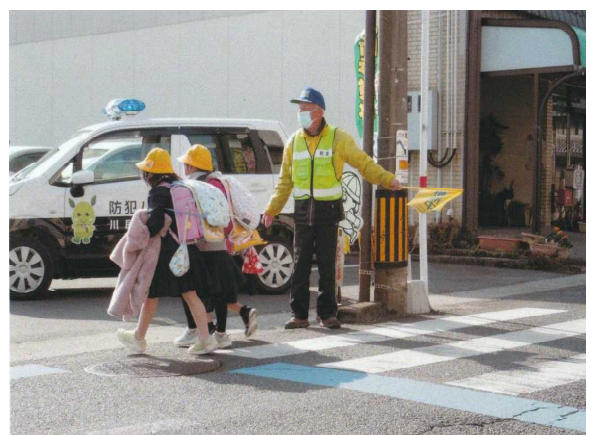
功 績 概 要

推 薦 者	山口県警察
団 体 名	神原地区防犯連絡所指導員協議会
所 在 地	山口県宇部市
代 表 者	石丸 雅子
功 績 の 概 要	昭和48年に発足して以降、「神原地区の犯罪抑止、環境浄化、子供の安全」と「無理なく長続きする活動」をスローガンに掲げて防犯活動を展開。 商店街や住宅地、駅等において徒歩による夜間の防犯パトロールを実施しているほか、各隊員が空き時間を利用してパトロールを実施している。 また、学校、P T A等と連携し、青色回転灯等装備車両による通学時間帯の見守り活動を実施しているほか、公園、通学路等の危険箇所点検にも積極的に取り組むなど、子供の安全確保にも尽力している。 さらに、駅駐輪場における自転車盗難防止に向けた広報活動、商業施設等における特殊詐欺被害防止に向けた広報活動、地区社会福祉協議会等と連携した地域の独居高齢者に対する特殊詐欺被害防止講話など、地域に根ざした防犯活動を実施している。 同団体は、50年以上の長きにわたり、旺盛なボランティア精神を維持し、献身的に地域に根ざした防犯活動に取り組んでおり、地域住民の安心感の醸成に大きく寄与している。



功 績 概 要

推 薦 者	熊本県警察
団 体 名	川尻校区防犯協会
所 在 地	熊本県熊本市
代 表 者	牛嶋 一寶
功 績 の 概 要	昭和48年に発足し、児童の見守り活動を中心として、昼夜を問わず献身的な防犯活動を継続。 平成16年に青色回転灯等装備車両によるパトロールを開始し、令和元年には、関係機関や校区全世帯の協力を得てパトロール専用車両を導入。同車両の車体には、小学校のマスコットキャラクター「ラックルくん」を描き「ラックルぱと」として運用を開始。隊員で曜日を振り分け、小学校の登校日は毎日見守り活動を継続しているほか、町内のイベント時には、地域住民や子供にパトロール体験をさせるなどして、親近感を与えるとともに、後継者の確保・育成を図っている。 平成20年には、街の一角に「開懷世利・町衆番所」と掲げた詰所を構え、パトロール活動の拠点としてのみならず防犯活動のシンボリック存在となり、より地域に根ざした団体として住民から絶大な信頼を得ている。 さらに、地域の老人会等での防犯講習や駅駐輪場の環境整備など犯罪の起きにくい環境づくりも推進している。 同団体は、50年以上の長きにわたり地域住民の目線に立ったきめ細かい活動を展開し、犯罪抑止のみならず、「自分たちの町は自分たちで守る」という住民の防犯意識の高揚にも大きく寄与している。



功 績 概 要

推 薦 者	大阪府警察
団 体 名	西六セーフティパトロール隊
所 在 地	大阪府大阪市
代 表 者	鍛冶 隆弘
功 績 の 概 要	平成15年、地区の街頭犯罪や侵入盗の増加をきっかけに町会が中心となって、多発する各種犯罪や事故の防止活動を推進し、安全で安心して暮らせる地域社会を実現することを目的として設立。 設立当初から、警察、消防、自治体等と徒歩による夜間合同パトロールを実施しているほか、平成20年からは青色回転灯等装備車両によるパトロール活動を実施。 また、子供が交通事故や各種犯罪に巻き込まれないよう、地区の各小学校PTAや老人会等と連携し、登下校時の見守り活動や挨拶等の声かけ運動を実施している。 さらに、自治体等が開催するイベントに集まる高齢者を対象に、警察と連携して防犯セミナーを開催しているほか、警察と協働で特殊詐欺被害防止や子供・女性の犯罪被害防止などを目的とした各種キャンペーンを実施し、地元住民の自主防犯意識の高揚を図っている。 同団体は、「安心して暮らせる街にしよう」、「一人でも歩ける街にしよう」、「無理なく、できることをできる範囲で！」をスローガンに活動する、府内の防犯ボランティア団体の草分け的存在であり、その活動は他団体の模範となるなど、持続可能な防犯ボランティア活動の推進に大きく貢献している。



功 績 概 要

推 薦 者	岩手県警察
団 体 名	紫波地区地域安全推進協議会
所 在 地	岩手県紫波郡
代 表 者	熊谷 泉
功 績 の 概 要	平成6年、都市化により地域の連帯意識が希薄化し、治安の悪化が懸念されたことから、盛岡市都南地区、紫波町・矢巾町の1市2町を管轄する防犯団体として設立。 日常的に構成員等が連携して、小中学校等の通学路における登下校時間帯の見守り活動を実施しているほか、広報紙「地域安全ニュース」の発行や「安心メール」の配信による防犯情報の提供など、地域住民の防犯意識の高揚を図っている。 また、毎年、地域安全マップコンクールや新一年生のための防犯・交通安全教室を開催し、子供の安全対策を推進しているほか、地域住民の連帯感の醸成、安全・安心に対する意識高揚を目的とした「地域安全フォーラム」を開催している。 さらに、管内の高校生に呼びかけ、高校生で組織する地域安全ボランティア隊の発足に尽力し、同隊との活動に取り組んで次世代の育成にも努めるとともに、少年の健全育成にも多大な貢献が認められる。 同団体の防犯活動は、枚挙に暇がなく、その長年にわたる献身的な活動が地域住民に信望され、地域住民の連帯感を醸成し、安全安心なまちづくりに大きく貢献している。



功 績 概 要

推 薦 者	石川県警察
団 体 名	高階地区防犯委員会
所 在 地	石川県七尾市
代 表 者	松村 高也
功 績 の 概 要	昭和29年、地区一帯で米の盗難被害が多発したことから、その対策として、翌30年に設立。 七尾警察署管内で最も早く青色回転灯等装備車両を導入し、月に20回、地区内の夜間パトロールを実施しているほか、早朝パトロール、警察署員とともに地区一円のパトロールを実施している。 また、能登半島地震が発生した1月1日、委員自らも被災したにもかかわらず、地区内で駐留監視を実施するとともに、震災関連犯罪防止のため1月は毎日3回、2月以降は毎日2回、地域の巡回を実施している。 さらに、活動する地区は過疎化が進み、年々空き家が増加していることから、不審な形跡や倒壊のおそれはいかなど、防犯、防災の観点から空き家の実態を調査し、結果を移住者の受入れなど地域の活性化にもつなげている。 同団体は、構成員が僅か15名ながらも、発災直後から地域住民のために活動するなど、その献身的かつ積極的な取組は、地域住民の防犯意識の高揚と安全安心なまちづくりの推進に顕著な功績があると認められる。



功 績 概 要

推 薦 者	静岡県警察
団 体 名	広幡地区防犯まちづくり推進協議会
所 在 地	静岡県藤枝市
代 表 者	守屋 和夫
功 績 の 概 要	平成6年、地域の有志により子供見守り等の自主防犯活動を目的に前身となる「広幡地域安全推進支援隊」が発足。その後、犯罪件数の増加などにより自主防犯活動に対する機運が高まり、より効果的な活動を行うため、平成16年に組織を拡大。 平日は毎日、通学路において、青色回転灯等装備車両によるパトロールや徒歩による見守り活動を実施しているほか、新入学児童に対する防犯グッズの配布や防犯教室の実施など子供の安全対策を推進している。 また、特殊詐欺被害防止のために、キャンペーンや金融機関の窓口対応訓練の実施、寸劇を取り入れた高齢者向けの防犯講習会の開催、高齢者と接する機会の多い民生委員等を対象にした講習会の開催のほか、一人暮らしの高齢者宅を定期的に訪問し、注意喚起等を行っている。 さらに、次世代ボランティアの育成も推進しており、若者、子育て世代の防犯ボランティア活動への積極的な参加を促している。 同団体の活動は、他県からの視察や行政機関、各防犯団体等からの問合せがあるなど、他の防犯ボランティア団体の模範となっており、持続可能な防犯ボランティア活動の推進に大きく貢献している。



功 績 概 要

推 薦 者	広島県警察
団 体 名	福山大学サイバー防犯ボランティア C y P a t F U
所 在 地	広島県福山市
代 表 者	大杉 朱美
功 績 の 概 要	平成29年、サイバー空間の規範意識を改善し、安全で安心して利用できるインターネット環境を確立することを目的として設立。 サイバー空間の浄化活動として、週1回、広島県警察サイバー犯罪対策課と合同サイバーパトロールを実施しているほか、キャッチーで耳心地のよい犯罪被害防止に係る標語をインスタグラムで配信している。 また、被害防止のための教育活動として、未成年のサイバー犯罪被害を防止するため、年齢が近い大学生の視点から、巻き込まれやすいSNSトラブルの事例紹介や事例を題材としたグループワークを内容とする防犯教室を実施しているほか、高齢者が被害に遭いやすいサイバー犯罪の実態、対策などを内容とする防犯講話を実施している。 さらに、警察や行政機関と連携し、サイバー防犯キャンペーンや防犯イベントへも積極的に参加している。 同団体は、卒業等により毎年メンバーが入れ替わる大学生ボランティアの課題を解消するため、先輩から後輩に対する活動要領や知識の継承にも力を入れ、持続可能なボランティア活動を可能とし、安全で安心して利用できるサイバー空間の確保に多大な貢献をしている。



274
投稿

185
フォロワー

48
フォロー中

福山大学サイバー防犯ボランティア CyPat FU
 福山大学人間文化学部心理学科の学生が、広島県警より依頼を受けて活動しています。
 安全で安心して利用できるサイバー空間を作ること目的として、インターネットの楽しい使い方・気を付け...続きを読む

災害時の 情報流出 見極めよう	災害時 情報伝達 やめようね	偽情報 みんな慌てる 災害時
CyPat FU	CyPat FU	CyPat FU
助けたい 焦って情報 間違わない	災害時 正しい情報 見極めて!	災害の 直後に広がる 誤情報
CyPat FU	CyPat FU	CyPat FU

功 績 概 要

推 薦 者	岡山県警察
氏 名	水舟 雪枝
役 職	岡山県少年警察協助力員会連合会会長
功 績 の 概 要	昭和63年から少年警察協助力員として活動し、平成27年度からは岡山県少年警察協助力員会連合会の会長を務めている。平成12年から地域安全推進員、平成18年から保護司としても活動。 少年のい集情報が寄せられる公園、コンビニ、大型量販店、カラオケボックス等を巡回し、少年に声掛けを積極的に実施することで、非行防止に尽力。少年警察協助力員のリーダーとして、活動への地域の理解と協力を求める広報活動にも尽力。 警察本部・警察署主催の「立ち直り支援活動」に積極的に参加。同活動に参加した少年や保護者に温かな声掛けを実施するとともに継続的な参加を促すなど、少年の再非行防止にも貢献。



功 績 概 要

推 薦 者	高知地方検察庁
団 体 名	一般社団法人こうち絆ファーム
所 在 地	高知県安芸市
代 表 者	北村 浩彦
功 績 の 概 要	令和元年設立。就労継続支援B型事業所及び多機能型事業所を運営し、障害のある者等の生きづらさを抱える者への支援を実施。 高知地方検察庁、高知保護観察所、高知刑務所と協力の下、農福連携の取組として犯罪をした者等も受け入れており、これまでに放火、傷害、窃盗、銃刀法違反の入口支援対象者、殺人、覚醒剤事犯の刑務所出所者を雇用。一般的に、受入れが難しい罪を犯した者も受け入れ、罪を犯した者が生きがいを見い出すことで再犯防止に寄与するとともに、農業分野における労働力の確保にも資するなど、地域共生社会の実現に貢献。 そのほか、各種シンポジウムやメディア等における取組の発信、司法修習生への講演など、再犯防止の取組及びその理解促進に尽力。



功 績 概 要

推 薦 者	法務省矯正局
団 体 名	牛久シャトー株式会社
所 在 地	茨城県牛久市
代 表 者	川口 孝太郎
功 績 の 概 要	令和２年設立。茨城農芸学院における矯正教育の一環として、明治36年に日本初の本格的なワイン醸造所として開設された牛久醸造場（現：牛久シャトー）において、茨城農芸学院で栽培されたブドウを醸造して、ワインを製造・販売する計画が立案され、令和２年７月以降、本社の技術担当者が同院を訪問するなどして同院職員へブドウ栽培等に係る技術・知識を伝達。同院で収穫されたブドウを使用して、牛久醸造場の120周年記念ワインを製造し、令和６年５月から販売。 また、在院者の社会貢献活動先としても同院に協力し、本社施設内の清掃・環境整備等に併せて、日本遺産である同施設の見学等を実施。 このほか、同院在院者が職業指導で作成した陶芸作品を納品し社内売店で販売するなど、在院者の自己効力感や就労意欲の伸長等、同院における矯正教育に大いに貢献し、在院者の再犯・再非行防止に寄与。



功 績 概 要

推 薦 者	前橋保護観察所
団 体 名	ぐんま・つなごうネット
所 在 地	群馬県前橋市
代 表 者	吉野 晶
功 績 の 概 要	平成28年設立。群馬県社会福祉士会、群馬県精神保健福祉士会、群馬県司法書士会、群馬県弁護士会の申合せにより設立された任意団体。 弁護士からの依頼を受け、刑事事件の被疑者、被告人、受刑者及び過去にそのような立場にあった者のうち、高齢者・障害者等の社会参加と再犯防止を目的として、司法と福祉の関係者が相互の専門性を尊重しながら、協力体制を構築し取組を進めている。具体的支援としては、要支援者の意思を尊重しつつ、支援を受けることを希望する場合に個別に支援チームを作り、対象者と面会を行い、各市町村行政の協力を得ながら要支援者の希望やニーズに沿う形で、障害者手帳の取得や生活保護申請に向けた補助、住む場所の確保や支援機関との連絡調整など、必要な福祉サービス等につなげるための支援を無償で実施している。 また、福祉関係者、民生委員・児童委員等に対する研修会の開催のほか、支援が必要な被疑者・被告人等の現状等について、市民の方々に向けて周知啓発を図るための研修会などを企画し開催。さらに、群馬県再犯防止・立ち直り支援ネットワーク会議の会員として、犯罪をした者等の社会参加や立ち直り支援活動に参画している。



功 績 概 要

推 薦 者	秋田保護観察所
団 体 名	更生保護支援ボランティアふれあいサークル
所 在 地	秋田県秋田市
代 表 者	千葉 恵美
功 績 の 概 要	平成24年設立。保護司、元保護司、協力雇用主、元児童相談所職員等で構成される任意団体。 身寄りがない高齢者や障害者の刑務所出所者等の居住先を訪問し、日常の困りごとや健康状態等の「話し相手」となる活動を実施するなど、犯罪をした者等が孤立することなく地域社会の一員として立ち戻っていくことができるよう尽力。また、支援対象者が亡くなった後も納骨や毎年の供養へ参加するなど、献身的な支援に取り組む。 加えて、大学教授等による講話や福祉職員との事例検討会の開催、独自に作成したパンフレット等の関係団体等への提供等、研修会活動、広報活動にも尽力。



功 績 概 要

推 薦 者	鳥取保護観察所
団 体 名	更生保護法人鳥取県更生保護給産会
所 在 地	鳥取県鳥取市
代 表 者	森本 博宗
功 績 の 概 要	明治32年設立。県内唯一の更生保護施設である「鳥取県更生保護給産会」を運営し、行き場のない刑務所出所者等の住居支援や自立支援に取り組む。特に平成25年からは薬物依存からの回復支援プログラムを実施、令和2年からは高齢又は障害のある出所者等を受け入れ福祉や医療調整を行うなど、依存症者や高齢者等の社会復帰支援に注力。 令和5年に鳥取県及び県内全市町村からの財政支援や更生保護関係者等からの協力を得て全面改築し、地域住民に新施設の会議室を提供したり災害時の一時避難所として開放するなど地域貢献にも取り組む。 施設退所者の孤立からの再犯をなくすため、平成29年から施設退所者への継続的な訪問支援を実施。令和6年からは、施設退所者に限らず、地域の高齢者、生活困窮者を始め地域住民全体に声がけし、「みんな」が集える場として、地域食堂「みんなで来んさいな」を開設。地域の様々な機関・団体との連携協力体制を構築しつつ、孤立しがちな者に地域交流の機会を提供し、人と人とのつながりを作り出すことで、安心・安全な地域社会づくりに貢献。



功 績 概 要

推 薦 者	広島地方検察庁
団 体 名	特定非営利活動法人広島県就労支援事業者機構
所 在 地	広島県広島市
代 表 者	荻田 知英
功 績 の 概 要	平成22年設立。犯罪をした者等の就労支援や協力雇用主を支援するNPO法人。 広島県及び広島地方検察庁からの依頼を受け、入口支援対象者に就労支援を実施。また、法務省からの委託事業「更生保護就労支援事業」として、保護観察対象者等への就職活動支援及び職場定着支援を実施。さらに、広島県からの委託を受け、刑事司法手続終了者に対する就労支援を実施。このように、保護観察所等とも連携して刑事司法の入口から刑事司法手続終了後まで、一貫して、犯罪をした者等への就労支援を実施することで再犯防止に貢献。広島弁護士会と就労支援協定を締結し、弁護士会からの依頼による就労支援にも取り組み始めるなど、多機関連携にも尽力。 加えて、独自の取組として、対象者が希望職種の協力雇用主の元で就労体験をする「就労体験セミナー事業」や協力雇用主が奨励金制度外の対象者を雇用した際に一定の金額を助成する「給与支払助成事業」も実施。



功 績 概 要

推 薦 者	法務省矯正局
団 体 名	横浜刑務所教化事業後援会
所 在 地	神奈川県横浜市
代 表 者	長谷川 武雄
功 績 の 概 要	昭和43年発足。以後56年間にわたって横浜刑務所における教誨師及び篤志面接委員の活動並びに教化事業（刑事施設において、受刑者の精神的・人格的な向上を図る事業）の支援等は無償で実施する任意団体。 横浜刑務所の教誨師会及び篤志面接委員会への活動費助成のほか、指導力向上のための研修会等を開催。受刑者の心情安定や健康維持等を目的とし、施設内の花壇の整備、運動用具、各種指導用書籍等の寄付等も実施。 長きにわたって横浜刑務所等への支援を継続してきたことで、横浜刑務所が受刑者に対して行う矯正処遇の充実に寄与し、受刑者の再犯防止にも大きく貢献。

